



川前小学校校章

# 玲 瓏

令和3年3月19日  
川前小・中学校  
学校だより 第46号



川前中学校校章

TEL0246-84-2211(小学校) 0246-84-2224(中学校)

## 「箱ひげ図」とは？

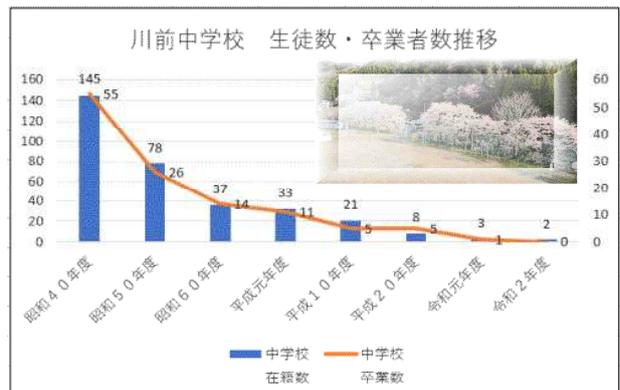


新学習指導要領の移行措置として、中学校数学の「データの比較」で、「箱ひげ図」について学習しました。身近なデータに焦点を当てそれらの分布の傾向を比較・分析する活動を通して、データをもとに問題解決したり、意思決定したりする能力を育成することがねらいです。ICTサ

ポーターの協力でPCを使って、ヒストグラム、折れ線グラフ、箱ひげ図でデータを比較し、分布の様子を分析しました。根拠をもとにじっくりとデータを読み取る学習は、直感的、反射的に物事を判断しがちな生徒たちには最適な授業となったようです。

## 児童生徒数の推移から

年度	小学校 在籍数	小学校 卒業数	中学校 在籍数	中学校 卒業数
昭和40年度	237		145	55
昭和50年度	118	20	78	26
昭和60年度	65	9	37	14
平成元年度	70	11	33	11
平成10年度	39	11	21	5
平成20年度	9	2	8	5
令和元年度	1	0	3	1
令和2年度	1	0	2	0



令和2年度は、小学校、中学校ともに、入学式も卒業式もありませんでした。そのような年度末に、川前小・中学校の在籍者数と卒業者数の推移を調べてみました。

昭和40年度の川前小学校、川前中学校には小中で合わせて約380名の子どもたちがいました。そして、約30年前の昭和から平成に変わった年には、100名程度になっています。そこから、平成10年に約60名まで減少し、平成12年に山下谷分校が廃校になると、平成20年には20名弱になってしまいました。校長は小・中学校を兼務し、職員室も小・中で一つになりました。現在、児童1名、生徒2名の全校児童生徒3名では、校舎がとても広く感じます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は諸活動が制限されましたが、令和3年度も、児童1名、生徒2名の計3名の子どもたちのために、極少数人数であることの課題を踏まえた上で、小回りの効く小規模校の良さを活かして、一層、近隣校との交流活動や体験活動を充実させてまいります。保護者、PTA賛助会員、地域の皆様の、ご理解、ご協力をいただきながら、教育活動の充実に向けてまいりますので、よろしくお願いいたします。